



付録

- [InformaCast による事前通知サポート](#) (1 ページ)
- [CTI 制御のサポート](#) (3 ページ)

InformaCast による事前通知サポート

Informacast を設定、トラブルシュートする

一般に、Cisco 無線電話 840 または 860 は、XSI API を使用して、マルチキャスト オーディオブロードキャスト、テキスト通知、および InformaCast サーバーへのユーザーフィードバックをサポートします。InformaCast は、Cisco Unified Communications Manager への HTTP または Cisco Unified Communications Manager JTAPI インターフェイスを使用するように設定できます。

Informacast の設定とトラブルシューティングの詳細については、「[Informacast を設定、トラブルシュートする](#)」を参照してください。

サポートされない InformaCast の機能

Cisco Wireless Phone 840 または 860 は現在、プッシュトゥークおよびクイックページサービスをサポートしていません。これらのサービスに登録されている電話機には、デバイスでサービスをアクティブにする方法がありません。Cisco Wireless Phone 840 または 860 は、QuickPage サービスがデバイスの電話ボタンテンプレートのサービス URL ボタンに割り当てられるワンボタンページングもサポートしていません。電話機では、Cisco Unified Communications Manager のボタンを設定できません。

部分的にサポートされている InformaCast 機能

Call Aware

Call Aware は、主に 911 緊急コールがダイヤルされたことを検出するために使用され、InformaCast ブロードキャストをトリガーします。また、911 以外の番号へのコールの検出、検出されたコールのモニター、およびそれらのコールの録音にも使用できます。たとえば、誰かがフロントデスクにコールするたびに InformaCast ブロードキャストをトリガーするために使用できます。スーパーバイザは、品質保証のためにこれらのコールをモニターするか、後で確認するために

録音するかを選択できます。Cisco Wireless Phone 840 または 860 は、コールのモニタリングと録音をサポートしていません。

トークアンドリッスンを使用したテキストメッセージと音声メッセージ

テキストと音声の両方を含む InformaCast メッセージは、[受信者グループ内の任意の電話機で通話を開始し、全員がリアルタイムで発言できるようにする（トークとリッスン）] オプションを使用して設定できます。Cisco 無線電話 840 または 860 がこれらのメッセージのいずれかを受信すると、[通話（Talk）] ソフトキーと [終了（exit）] ソフトキーは表示されないため、Cisco Wireless Phone 840 または 860 は、音声を送信している他の電話を聞くことしかできません。

InformaCast 機能に関する注意事項

非常ボタン

Cisco Wireless Phone 840 または 860 には赤色のボタンがあり、デフォルトではデバイスの緊急ボタンとして設定されています。この機能は、ボタンアプリケーションを使用して他のデバイスボタンにマッピングすることもできます。緊急アプリを使用すると、ユーザーが設定された緊急ボタンを長押し、2回の短押し、または2回の短押しまたは1回の長押しで、CiscoPhone アプリを介してアラームをトリガーしたり、緊急コールを発信したりするように電話機を設定できます。デフォルトでは、アクションは実行されません。

InformaCast のパニックボタンサービスは、緊急アプリケーションの設定の有無にかかわらず使用できます。Cisco IP Phone サービスを Cisco Unified Communications Manager で設定する手順（[InformaCast XML サービス \(singlewire.com\)](http://singlewire.com) の作成）では、作成する Cisco IP Phone サービスの名前を **InformaCast** にする必要があります（大文字と小文字は区別されません）。デバイスは、パニックボタン機能用に設定されたサービスとして認識せず、ユーザーがアクティブにする方法はありません。

緊急アプリケーションが有効になっている場合、パニックボタンが押されたときに現在の動作を継続します。InformaCast と緊急アプリケーションの両方が使用されている場合は、ボタンを1回長押しした後にアラームをトリガーするように緊急アプリケーションを設定する必要があります。これは、2回押すと InformaCast サービスが2回トリガーされるためです。緊急アプリケーションで赤色の円形のオンスクリーンパニックボタンを押しても、InformaCast パニックボタンサービスはトリガーされません。

その他の注意事項

電話がアクティブコール中でない場合、Cisco Wireless Phone 840 または 860 は、InformaCast からブロードキャストメッセージを受信すると、ユーザーに通知を表示します。

ユーザーは、通知が対応するボタンをタッチすることで、メッセージを表示するか無視し、マルチキャストオーディオストリームを停止するかを選択できます。ブロードキャストに音声のみが含まれている場合、この動作は、オーディオストリームを無効にする方法がない 8821 とは異なります。電話が通話中の場合、ユーザーが通知内のボタンをクリックして再生することを選択しない限り、マルチキャストオーディオストリームは再生されません。これにより、既存のコールが保留になります。

電話機がロックされている場合は、ブロードキャストメッセージが自動的に表示され、ユーザーの操作なしで音声は再生されます（コール中でない場合）。ユーザーは、表示されたメッ

ページの停止ボタンを使用して音声を停止することができます。電話機がロックされている間にユーザーが通話中の場合、ブロードキャストを聞くには、通知の [応答 (ANSWER)] ボタンをクリックする必要があります。

[InformaCast ブロードキャストパラメータ (InformaCast Broadcast Parameters)] ページで設定された電話機のバイブレーション設定は、Cisco Wireless Phone 840 または 860 では無視されません。

Cisco Wireless Phone 840 または 860 は、InformaCast によって複数のブロードキャストが送信される場合、[InformaCast ブロードキャストパラメータ (InformaCast Broadcast Parameters)] ページの [メッセージブレンディングを有効にする (Enable Message Blending)] チェックボックスの設定に応じて、次の表に示すように動作します。

優先順位と到着順	ブレンディング有効	ブレンディング無効
優先順位の低いブロードキャスト (A) の後に優先順位の高いブロードキャスト (B) が続きます。	ブロードキャスト A の再生からブロードキャスト B の再生に切り替えます。B が終了すると、A の残りの再生に戻ります。	ブロードキャスト A の再生からブロードキャスト B の再生に切り替えます。B が終了すると、A の残りの再生に戻ります。
ブロードキャスト (A) の後に同じプライオリティのブロードキャスト (B) が続きます。	A を完全に再生し、ブロードキャスト B を無視する。	ブロードキャスト A を完全に再生してから、B の残りの再生に切り替えます。
優先順位の高いブロードキャスト (A) の後に優先順位の低いブロードキャスト (B) が続きます。	ブロードキャスト A を完全に再生してから、ブロードキャスト B の残りの再生に切り替えます。	ブロードキャスト A を完全に再生してから、ブロードキャスト B の残りの再生に切り替えます。

CTI 制御のサポート

需要 (Need)

InformaCast は、HTTP または Cisco Unified Communications Manager JTAPI のいずれかを使用できます。

Cisco Unified Communications Manager JTAPI を使用するには、デバイスがコンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) をサポートしていることを Cisco Unified Communications Manager に通知する必要があります。

InformaCast で使用される 1 つの主要な機能は、XSI オブジェクトパススルーです。Cisco Unified Communications Manager JTAPI 開発者ガイドの 276 ページを参照してください。

XSI オブジェクトパススルーアプリケーションは、Cisco Unified Communications Manager JTAPI および CTI インターフェイスを介して XML オブジェクトを電話機に渡すことができます。XML オブジェクトには、Cisco IP Phone サービス機能から使用可能な電話機上の表示の更新、

ソフトキーの更新、有効化、無効化および他のタイプの更新を含めることができます。これにより、電話機への独立した接続を維持することなく、Cisco Unified Communications Manager JTAPI および CTI のインターフェイス経由で、アプリケーションから Cisco IP Phone サービス機能にアクセスできます。

認証とメカニズム電話の IP アドレスを必要とする HTTP POST リクエストを電話機の Web サーバに送信すると、オブジェクトのプッシュが実行されます。Web サーバーは、そのリクエストを解析し、Cisco Unified Communications Manager に返された HTTP によりリクエストを認証して、これを実行し、リクエストの成功または失敗を示す XML レスポンスをアプリケーションに返します。XSI では、Skinny Client Control Protocol (SCCP) によって Cisco IP Phone サービスオブジェクトが電話に直接送信されます。Cisco Unified Communications Manager JTAPI クライアントは信頼されており、電話の IP アドレスを必要としないので、電話ではリクエストの認証は行われません。実際の XML 内容の詳細については、『Cisco IP Phone サービス アプリケーション開発ノート』を参照してください。

ディスカッション

Cisco Wireless Phone 840 または 860 は限定的な CTI サポートを提供します。お客様は、CTI を実行するサードパーティ製ソフトウェアを使用して機能を有効にしてテストできますが、その結果は、サードパーティ製ソフトウェアによって実行される正確な機能に基づいて制限される場合があります。

SIP シグナリングと CTI

回線メッセージングガイドでは、CTI から取得できる remotec REFER の種類について詳しく説明しています。

Cisco Unified Communications Manager から電話機への次のリクエストがサポートされています。詳細については、CMCM 8.0 Line Messaging ガイド (78 ページの表を参照) および CUCM 12 バージョンのガイド (125 ページ) を参照してください。

リモート CC リクエスト	目的	現在、CiscoPhone アプリでサポートされています
initiatecallreq	エンドポイントをトリガーして、Cisco Unified CM に INVITE を送信します。この INVITE の前にオフフック NOTIFY が表示される場合があります。	いいえ
holdretrievereq	保留中のダイアログを再開するために使用されます。	いいえ
privacyreq	共有回線のプライバシー設定をエンドポイントに送信するために使用されます。	はい

リモート CC リクエスト	目的	現在、CiscoPhone アプリでサポートされています
statuslineupdatereq	電話機の UI にステータスメッセージを表示するために使用されます。	はい（ただし、CUCM によって渡されたメッセージは表示されません。独自のロジックを使用します）。これは、CUCM 会議を行ったときに配置され、コールピックアップに使用されているようです。
playtonereq	デバイスでトーンを再生するために使用されます。	[はい (Yes)]: コールピックアップ用。最初は CUCM 会議でもこれを取得しましたが、実装方法を変更しました。コードは機能の状態に固有であり、これにはコンテキストが含まれていない可能性があります。
cfwdallupdate	特定の回線のエンドポイントにすべてのコール転送設定を送信するために使用されます。	はい。これは、デバイスが最初の登録時に CFA がアクティブかどうかを学習する方法です。
datapasthroughreq	Cisco Unified CM は、データパススルー リクエストを使用してサブ要素を機能および CTI アプリケーションに渡す	あり (XSI over JTAPI をサポートするための 1.10 の新機能)
holdreversionreq	Cisco Unified CM 保留復帰機能は、このリクエストを使用して、エンドポイントが指定されたコールで保留復帰を呼び出すようにトリガーします。	いいえ
monitorcallreq	CTI アプリケーションはこれを使用して、電話機が別の電話機のコールのモニタリングを開始するようにリクエストします。	いいえ。ただし、サイレントモニタリングを実装する場合は対応します。

リモート CC リクエスト	目的	現在、CiscoPhone アプリでサポートされています
dndrequest	CTI アプリケーションはこれを使用して、ユーザが DND ソフトキーを押す動作を電話機がシミュレートするようにリクエストします。これにより、電話機の DND の状態が有効から無効に、または無効から終了可能に切り替わります。	いいえ
dndupdate	Cisco Unified CM は、Cisco Unified CM Web 管理インターフェイスを使用していずれかの設定が変更されたときに、このリクエストを使用して DND ステータスと DND オプション設定を伝達します。	いいえ
Linekeyupdate	CTI はこれを使用して、インターコム スピードダイヤル設定を更新するよう電話機にリクエストします。	いいえ
talkbackreq	CTI アプリケーションは、このリクエストを使用して、双方向メディアを確立するためのインターコム トークバックを開始します。	いいえ
dialdtmfreq	DTMF 番号をダイヤルするように電話機にリクエストします。	いいえ。これは 12.5 のドキュメントのみです。

特定のリクエストをサポートしていない場合でも、必要に応じて、適切な SIP レスポンスと終了 NOTIFY を送信する必要があります。

CTI のサポートの一環として、電話機が remotecc REFER メッセージを介してさまざまなイベントを CUCM に通知することもできます。ドキュメントの 12.5 バージョンの 120 ページの表を参照してください。

リモート CC リクエスト	機能	説明	現在、CiscoPhone アプリでサポートされています
softkeyeventmsg	会議	会議コールを作成	対応 (CUCM 会議の場合)
softkeyeventmsg	park	通話のパーク	はい。park ではなく、parkmonitor を使用することに注意してください。Parkmonitor はこのドキュメントには記載されていません。
softkeyeventmsg	conflist	会議の参加者の一覧表示	いいえ。CUCM から送信された NOTIFY を使用します。ソフトキーを押して取得する電話はサポートされていません。
softkeyeventmsg	rmlastconf	会議の最後の参加者を削除	いいえ
softkeyeventmsg	idivert	即時転送機能のアクティブ化	はい
softkeyeventmsg	callback	コールバック機能により、話中の内線番号がコールを受信できるようになった時点で通知を受信できます。電話と同じ Unified Communications Manager クラスタ内にある接続先の電話、または QSIG トランクまたは QSIG 対応クラスタ間トランクを介したリモート Private Integrated Network Exchange (PINX) にある接続先の電話のコールバックをアクティブにできます。	いいえ
Softkeyeventmsg	Qrt	品質レポート ツール	いいえ

リモート CC リクエスト	機能	説明	現在、CiscoPhone アプリでサポートされています
Softkeyeventmsg	サービスを	リモートデバイスが保留中のコールをリモートで再開できないように、コールをロックできます。	はい
Softkeyeventmsg	選択を解除	Select の反対	はい
Softkeyeventmsg	プライバシー	電話機のすべての回線のプライバシーステータスを切り替える	はい
Linekeyeventmsg		これは、このリリースで標準 SIP プリミティブが関連付けられていない機能について、電話機が回線キーの押下を CUCM に送信する方法です。ドキュメントではプライバシーについて言及していますが、ソフトキーを押すことでサポートされません。	いいえ
Datapassthreq		XSI XML キー入力を CUCM 機能と CTI アプリケーションに送信する	いいえ

詳細については、次を参照してください。

[jtapi - Cisco Developer](#)

『Cisco Unified JTAPI Developers Guide for Cisco Unified Communications Manager、リリース 14 と SU (upload-large-file.s3.us-east-2.amazonaws.com) 』

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。